

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 西川豊長
 幹事 中山信夫
 会報委員長 西尾正巳

No. 43

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第716回 平成9年6月17日(火)

新入会員歓迎夜間例会(松楓閣にて18時より)

先週の記録

第715回 平成9年6月10日(火)曇/晴

- ◇ “それでこそロータリー”
- ◇ お誕生日祝福
小杉君(6/11)、魚津君(6/11)
- ◇ 出席報告

会員	66(65)名	出席	47名
出席率	72.31%		
前々回	5月27日(修正出席率) 95.45%		
- ◇ ビジター紹介 IshofRC Tiger Holme's 君 他4名
- ◇ ニコボックス
紙面の都合上次回掲載させていただきます。
- ◇ 中山幹事報告
 1. 本日例会終了後、現・次年度理事役員会を開催致しますので、現・次年度理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。
 2. 次回例会は、松楓閣にて午後6時より夜間例会を、当日例会終了後、臨時総会を開催致します。昼間の例会はございませんのでお間違いのないようご出席下さい。
 3. 1997~98年度ロータリー手帳が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。
- ◇ バナー贈呈
フットロードゲールRCのサムエル・フレア君に当クラブバナーを贈呈しました。
- ◇ 西川会長挨拶
 本日は、唯今親睦委員から報告されたように、アメリカフロリダからロータリアンがビジターとして当クラブに来られました。
 そこで、私はアメリカの火星探査機「マーズ・バスマイニング」が来る7月4日の独

立記念日に、いよいよ火星に軟着陸するというお話をいたしましょう。

火星(マーズ)は、昨年夏NASA(米航空宇宙局)が、「生命の痕跡らしいものを発見した」と発表したが発端となって、がぜん世界中の関心が高まったのであります。

ここに、中日新聞6月8日サンデー版があります。この写真が、いん石の電子顕微鏡写真で、その中央部に見えるチューブ状のものが、火星の生物化石の可能性があるとみられています。その長さはわずか0.0001ミリで、地球上の細菌よりはるかに小さいのですが、形が地球微生物の一種によく似ています。

この火星の生命体と思われるものは、火星から1万3000年前に飛来した「ALH84001」と呼ばれるいん石から見つかったのであります。

今度7月4日火星に軟着陸する探査機は、1996年暮れに打ち上げられたもので、バイキング号以来21年振りに軟着陸するものであります。火星は現在低温で大気の薄い砂漠の惑星ですが、もともとは温暖で水と大気に富む環境だったと考えられており、生命が誕生した可能性があります。

では、なぜ今火星の探査をするのか。

それは、火星で生命体が誕生したことが証明されれば、宇宙において生命の誕生はそんなに特別の現象ではなくなります。これは地球人類にとって、大きなターニング・ポイントになるでしょう。

生命は、一つの太陽系の二つの惑星だけでなく、広大な宇宙のどこにでも誕生することになります。

こうして、原始生命の微化石を見つけて、進化の過程を理解することができるのも、火星探査の大きな目的の一つでもあります。

火星生命から地球の生命起源や進化の証明ができることになります。

7月4日アメリカ火星探査機軟着陸の成功を祈ります。今日おいでのアメリカロータリ

アンのために。また、全地球人類のためにも。
さらに、まだ見ぬ地球外生命体のためにも。

◇講演

“五重の塔について”

魚津社寺工務店 工事部長
水口 春夫氏



全国に塔というものが
たくさんありますが、ま
ず第一に塔とは何だろ
うか。簡単に説明しま
すと、インドに生まれ、
仏教を始められた御
釈迦様の舍利を納めた
もの、いわゆるお墓で
あります。

日本風と言うと古墳で
す。この建築物が中国
へ伝わり、構造物とな
り、朝鮮を通り日本へ
伝わりました。さて、
日本で最初に塔が建て
られ歴史上明らかにな
っているのは、奈良の
飛鳥寺の塔ですが、現
存するのは奈良法隆寺
の五重の塔で、今回日
泰寺に建った塔とはほ
ぼ同じ大きさです。そ
の後仏教の広まりと同
じくして日本各地に塔
が建てられ現在に至っ
ております。

次に塔というものは、
第一に古来は地中3cm
位の所に据えられた土
台石に立てられて掘立
式になっていたのです
が、現存している塔は
全て地上より又は1階
の天井上より最上階の
屋根を通り相輪へと延
びています。

第二に、各層の柱は各
階ごとに短い柱で貫
や横材で固められてい
ます。各階ごとのブロ
ックが三重又は五重と
重なっている積木のよ
うだと考えてもらえば
良いでしょう。

時代の流れと共に構
造の方法も変化が見ら
れます。積上げ工法、
やぐら組工法、吊り下
げ工法等があります。積
上げ工法は古来からの
方法、やぐら組工法は
室町時代に考え出され
た方法で貫をたくさん
使う方法です。この両
方が日本の塔のほとん
どの構造です。

日光と上野の五重塔
はこの方法に心柱だけ
が最上階よりクサリで
吊り下げて心柱を立て
ている方法です。木材
の縮みを吸収するのが
目的です。

さて、今回日泰寺さん
の五重塔工事について
、お話しします。

寺院では七堂伽藍の中
でも塔は大切な建物
です。仏教伝来時の伽
藍配置ですと、寺院の
中心に有り、一番大切
な物でしたが、時代の
流れと共に考え方、教
えの位置づけが変わっ
てきましたが、大切な
ものでとても目に付く
ものです。塔は見上げ
る、ながめる、と言わ
れます様に美しさ、バ
ランスが一番大切な建
物です。

参考にした建物は、法
隆寺五重塔と、山口県
瑠璃光寺の五重塔です。

設計図が出来上がると
、今度は材料、とり

わけ木材の調達です。木
材は、いろんな種類が
あります。建物によって
使う場所によってどん
な材料を使うかが問題
です。今回、五重塔とい
う事で「桧」と決めま
した。

今まで私共が塔の建築
やいろいろな建物で感
じた事、又は行って来
た事を述べましたが、「木
」は古くなればなる程
、「角」が取れて丸くな
ります。やさしさ、ぬく
もりが感じられます。こ
んなすばらしい「木」と
いうものを、できるだけ
長く持たせるためにい
ろんな工夫も行ってい
ます。今回の日泰寺五
重塔と時を同じくして
名古屋の新名所となっ
ている名古屋能楽堂も
大変苦勞した作品です
。現代風の建物の内に
古来よりの木造の文化
を入れる考え方です。木
造単体の建物もむずか
しいものですが、現代
建築の中への木造建築
も大変むずかしいもの
です。

「木」の良さを知って
もらうために、又先人
達が残してくれた「木
」の文化を残すために
日々苦勞しております
が、私自身は「木」が
大好きです。しかし何
よりうれしいのは若い
人達が跡に付いて来て
くれている事です。心
強い見方です。「樹」
は、1300年もの長い
間、今も建物に残って
耐えているのです。若
い人にもっと「樹」を
知ってほしいです。

短い時間ですが、以
上が塔についての私自
身が思っている事、考
えている事を述べてみ
ました。

◇例会変更のお知らせ

名古屋南RC	6/25(水)ユツタリ例会の為、名古屋観光ホテルにて
名古屋名駅RC	6/25(水)夜間例会の為、名鉄ニューグランドホテルにて
名古屋西RC	6/26(木)I.D.M.の為、キャッスルプラザにて17時半より
名古屋大須RC	6/26(木)親睦例会の為、6/25(水)プリンセスガーデンホテルにて18時より
名古屋瑞穂RC	6/26(木)夜間例会の為、18時
名古屋空港RC	6/30(月)I.D.M.の為、キャッスルプラザにて18時より
名古屋中RC	6/30(月)親睦例会の為、名古屋観光ホテルにて18時より

◇6月度現・次年度理事会議題

現理事会審議事項

1. 新入会員候補者承認の件
2. 退会届けの件
3. 1996～97年度決算(案)報告の件

現・次年度審議事項

1. 事務局次年度昇給・賞与の件
- 次年度審議事項

1. 会報の件

◇次回例会(6月24日)

友愛の日(立食)